

富医ニュース

No.562 平成30年10月1日

一般社団法人 富田林医師会
 会長 宮田 重樹
 〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
 TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
 E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

第9回 とんだばやし 認知症市民フォーラム

～広げよう認知症予防、活用しよう在宅医療～

日時

平成30年

11月17日(土)

14:00～16:00

(開場12:30)

場所

すばるホール

4階 銀河の間

定員

400名(入場無料)

※来場者に記念品あり ※手話通訳・要約筆記あり

12:30 開場(※相談、測定等 13:30 受付終了)

もの忘れ簡易チェックテスト、ロコモ度テスト、血糖・血圧測定、糖尿病食・介護食試食、服薬ゼリー体験、健康・介護・栄養相談、脳トレ、パネル展示等を行います。

14:00 開会(※16:00 閉会)

●表彰式:「感想文を書こう!MEET★富田林コンクール」

認知症に関連する本を読んで小学生・中学生が書いた感想文の優秀作を表彰します。

●パネルディスカッション:「今日からできる!認知症予防のポイント」

専門職のそれぞれの立場から、認知症予防のポイントについてお話します。

- 整形外科医:宮田医院 宮田重樹氏
- 内科医:仲谷診療所 仲谷宗裕氏
- 歯科医:真田歯科医院 宋 連玉氏
- 薬剤師:とおやま薬局河南 遠山典男氏

●講演:「富田林市における在宅医療について」

～認知症になっても安心して暮らすためには～

認知症をはじめ、さまざまな病気になっても住み慣れた自宅で安心して暮らすために、活用できる在宅医療と仕組みについてお話します。

- 認知サポート医 坂口医院 坂口隆啓氏
- 富田林医師会訪問看護ステーション

増本紀子氏



～あなたのことは安心してできる人がいます～

調整日

9月分 10月5日(金)
PM3:00まで

10月分 11月8日(木)
PM3:00まで

10月の予定

1日(月)・会長副会長連絡会議

2日(火)・休日診療委員会

5日(金)・調整日

12日(金)・理事会

22日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会

23日(火)・広報調査委員会

26日(金)・広報調査委員会

(校正)

27日(土)・三医師会合同学術

講演会



平成30年 9月定例理事会

日 時 平成30年9月14日(金)
13:30より
場 所 医師会 特別会議室

会長挨拶

報告事項

- 1) 富田林病院建て替えに伴う医師会駐車場利用について富田林病院と協議
- 2) 保健所の糖尿病重症化予防対策について(会長)
- 3) 河南町で三種混合ワクチンを任意接種での費用を助成することが決定(感染症対策委員)

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 予防接種委託料返還訴訟医師会勝訴確定について
- 3) 大阪南医療センターで地域医療支援病院運営委員会開催(骨粗鬆症予防の件)
- 4) 7月豪雨の支援金について
- 5) 11月の富田林総合防災訓練について
- 6) 出張費について

不眠症治療を考える会

日時 平成30年10月27日(土) 14:30~16:30
場所 さやかホール 大会議室L
座長 大阪狭山市医師会学術担当理事
若木 伸夫 先生

【特別講演】

『睡眠障害の変わりゆく治療戦略』

近畿大学医学部解剖学教授
近畿大学医学部附属病院
呼吸器・アレルギー内科・

睡眠体内時計外来担当医師 重吉 康史 先生

※大阪府医師会生涯研修認定(20:不眠 69:不安)2単位を申請しております。

富田林整形外科病診連携勉強会の案内

日々整形外科疾患を抱える患者さんを診察していて、病院にお願いすることが多々あると思います。

どのような疾患を引き受けてくれるのか、どのような疾患の治療を得意としているのか、どのような病状なら引き受けてくれるのか、どんな患者さんなら入院させてくれるのか、近隣の病院の先生方に教えて頂きたい整形外科病診連携勉強会を開催するに至りました。整形外科専門医の先生だけでなく、日頃診療で整形外科疾患の相談を受けている先生方にも参加して頂ければ幸いです。

日 時 10月13日(土) 13:30~
場 所 医師会 会議室

専門医より一言



近畿大学医学部
消化器内科 松井 重長 先生

近年、日本人において逆流性食道炎は増加傾向にある。その原因として、

食生活の欧米化による動物性蛋白の摂取の増加、BMI高値または肥満者の増加、*Helicobacter pylori* 感染率の低下などにより胃酸分泌能が増加したためである。臨床症状としてさまざまな症状がみられる。胸やけ、呑酸、心窩部痛、胸痛、つかえ感、咳嗽、のどの違和感、睡眠障害などである。重症例では吐血を認めることもある。

治療としては標準量のPPIを8週間内服することにより、約80~90%の内視鏡的治癒が得られると報告されていた。しかし、2015年の報告ではロサンゼルス(LA)分類GradeA,Bの軽症例では約70~90%の治癒、GradeC,Dの重症例では約50~70%に低下し、標準量PPI抵抗性の逆流性食道炎症例が増加している。また、従来のPPIの課題として、酸分泌抑制の遅さ、CYP2C19遺伝子多型EMにおける効果不十分、夜間酸分泌抑制不十分、重症型逆流性食道炎での治療抵抗性などがあげられる。これらの課題に対してより確実な効果と安全性の両立した治療が求められており、新しく登場したボノプラザン(P-CAB)の位置付け、トップダウンセラピーについて講演を行った。

GERDは日常診療で非常に多い身近な疾患であるため興味深くお聞きいただいた。講演後、肥満による逆流性食道炎発生の理由、除菌治療後の胃がん、3次除菌治療、亀背による逆流性食道炎など多くの質問をいただいた。

富田林病院建て替え工事に伴う 医師会駐車場移転の件

2018年10月から本格的に富田林病院建て替え工事が始まります。

病院の説明によると工事を行っていくにあたり、建設重機や土壌汚染残土等搬出用の大型工事車両の動線が、当初に想定した動線とすることが困難になり、医師会館駐車場を外来患者駐車場への入出場ルートとして使用する以外に方法がないとのことで医師会に申し出がありました。

医師会として多大な問題点がありますが、全面的な協力をしていく立場であり、申し出を受けることと致しました。

現駐車場が使えなくなることで、建設期間中は医師会館向かいにある富田林病院第2駐車場を使用することになりました。第2駐車場内には医師会専用の11台分の駐車スペースが確保されます。さらに医師会館玄関が一般駐車場の出入口になるため、安全を考慮し、警備員の配置、フェンスの設置、第2駐車場からの横断に対する配慮も行われます。

富田林病院第2駐車場内へは、医師会館前の道からではなく、裏から入ることによって患者さんと駐車スペースを分断することとなりました。駐車場に入るには、保健センター向

オペラ「マノン・レスコー」のことなど

「椿姫」というオペラをご存知の方は多いと思います。全曲でなくても「乾杯の歌」はご存知の方が多いでしょう。あるいは管弦楽を好んで聞かれる方なら「椿姫」の前奏曲を聞かれた方は多いと思います。オペラ好きの私はDVDでなく全曲の公演を、足を運んで聴いています。やはり生のライブ感に勝るものはないと思うからです。そのオペラ「椿姫」はデュマ・フィス原作「椿姫」をヴェルディ(1813～1901)がオペラ化したものです。

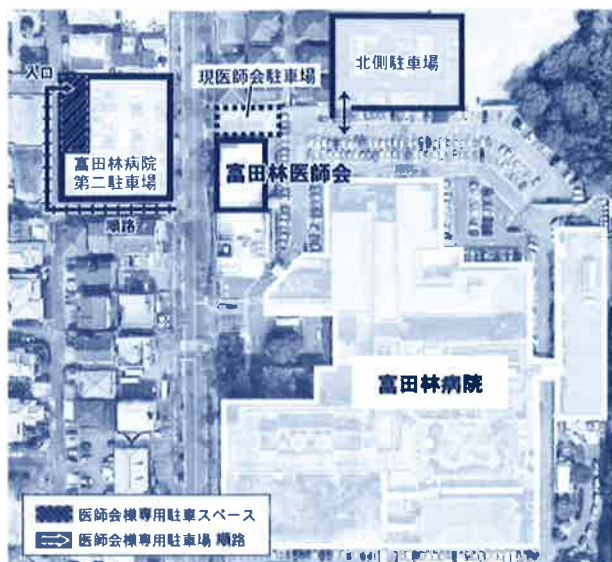
次にその「椿姫」の原作中でヒロイン、マルグリットがアベ・プレヴォ(1697～1763)の「マノン・レスコー」という小説を読む場面で「この本を読むたびにいつも同感をそそられる」と告白します。有名小説のオペラ化は割と頻繁に行われ、作曲家プッチーニ(1858～1924)はこのアベ・プレヴォの「マノン・レスコー」という小説をもとにして同名の「マノン・レスコー」という名のオペラを作りました。上演したのは1893年(歌詞はイタリア語)です。また同じアベ・プレヴォの原作「マノン・レスコー」をもとにマスネが「マノン」という名でオペラ化し、上演したのが1884年です(歌詞はフランス語)。さらにもう一つオーベール(1782～1871)という作曲家の「マノン」という歌劇もありますが(1856初演)オーベールの他の曲に比べあまり広く知られていません。

さてここまでまず取り上げるのはプッチーニの「マノン・レスコー」です。1986年3月名古屋市民会館はウィーン国立歌劇場の引っ越し公演でミレッラ・フレニコとかペーター・ドヴォルスキーなどという名歌手と指揮者がジュゼッペ・シノーポリのウィーン国立歌劇場管弦楽団という超豪華なキャストで上演され、そしてまた2015年3月新国立劇場でスヴェトラ・ヴァシレヴァとかダリポール・イニエスというキャストでの上演もありました。文学作品をオペラにする場合、原作を歌詞に作り替えるいわゆる台本作家が必要です。プッチーニの「マノン・レスコー」の場合はルイーゼ・イリカとジュゼッペ・ジャコーザの共同で作業に当たりました。そのあらすじは青年デグリュエとマノン・レスコーの出会いに始まりマノンの兄の助けで二人は老獪なジェロントの奸計を振り切りパリに逃れ共同生活を始めようとするまでが第1幕で、第2幕は経済的理由でデグリュエと別れたマノンが、老ジェロントの豪華な邸宅での困い者の生活の描写から始まります。マノンはデグリュエとのつつましい質素な生活が気に入らなかったのです。でも老ジェロントとの生活は年齢差もあり、また芸事を仕込まれたりするのに飽き飽きしてデグリュエとの生活を懐かしむようになります。マノンの持つ生まれた移り気な性格がそういう風にさせたのです。

かいの道を西に入って頂き、駐車場に沿って右折して頂く入り口がございます。入り口には、ゲート等なく現在の医師会館駐車場入り口と同じ状況です。従来通り、富田林病院駐車場をご利用の際は、駐車券を持参ください。

工事は2021年11月まで続きます。何か、不都合な点に気付かれましたらご連絡くださいますようお願い致します。

会員の先生方には、多大なご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



新理事のご挨拶



新田クリニック 新田 隆 先生

このたび、富田林医師会理事に選ばれました新田と申します。宮田医師会会長に在宅部門での意見を色々述べてほしいと要望され、理事を引き受けることになりました。富田林医師会員としてはまだまだ新参者ですが、これからも皆様方のご教示、ご鞭撻のほど何卒よろしく願いいたします。

理事就任挨拶



明石整形外科クリニック 明石 健一 先生

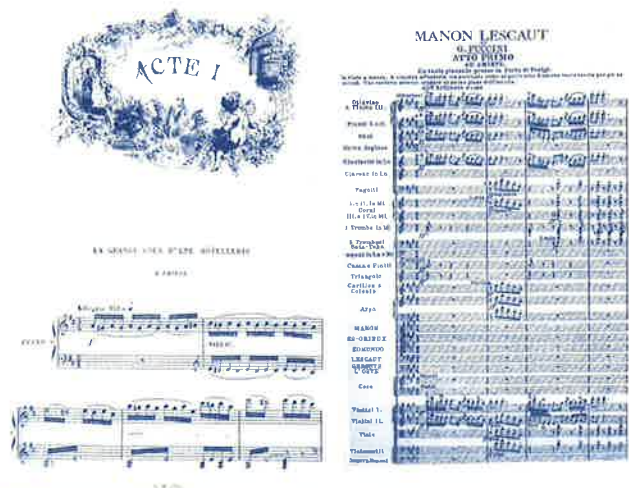
この度、富田林医師会理事に就任させて頂くこととなりました明石整形外科クリニックの明石です。

何度か理事会に参加させて頂きましたが、医師会活動が多岐にわたること、また、その内容の濃さに驚いております。特に検診や予防接種事業などは決まっていることだからと、特に疑問も持たずに過ごしておりましたが、表では見えないところで医師会と市町村との地道な折衝があり、その結果、今の地域医療が円滑に行われていることを実感しております。

日々の診療の中、理事を引き受けることは大変なこととは思いますが、新しい挑戦と考え会員の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っております。宜しく願い致します。

マノンの兄がジェロントの邸宅に自由に出入りしていて、その兄を通じてマノンの居所を知ったデグリュエがジェロントの留守中に訪れてきて昔の生活を懐かしむその場にジェロントが帰宅して大騒ぎになり、怒りを買ったマノンは遂に刑務所送りになるところまでが第2幕です。囚人となったマノンが他の不良女子共々アメリカ送りとなる波止場の情景が第3幕で、この場で悲嘆にくれたデグリュエがマノンへの思いを切々と歌う一方、マノンは本音ではないが自分を忘れてほしいというあたりの音楽がプッチーニの、後の大作群を思わせる本領の一端かともおもわれます。あまり愁嘆場を見せられた船員の上官はデグリュートに見習い水夫としてアメリカに同行することを許すところで幕。第4幕はいきなり人気のない荒涼とした新天地で病に侵され憔悴したマノンはデグリュエの腕の中で短い一生を終えて幕となる。プッチーニのオペラの中で「マノン・レスコー」は比較的初期の作品であるため技法としてプッチーニ以外の影響もみられますが随所に本領発揮の側面が見えたりしてやはり貴重な作品といえましょう。この作品が本年9月中旬ローマ歌劇場引越し公演の演目として取り上げられます。ここでのマノン役はクリスティーネ・オポライス(ラトビア出身の指揮者アンドリス・ネルソンス元夫人)、演出が指揮者リッカルド・ムーティの娘キアラ・ムーティというところも興味深いし指揮はドナート・レンツェッティのローマ歌劇場管弦楽団です。公演予定2演目のもう一つは「椿姫」です。

次に前に触れたマスネーのオペラ「マノン」ですが同じアベ・プレヴォの原作とは言え、脚本が異なるため内容はかなり違うものとなっています。マノンとわかれて神父となって静かに暮らすデグリュエが突然マノンの探りだすところとなり必死の抵抗むなしくマノンとよりを戻すといった場面がクライマックスでしょうか。2001年7月新国立劇場で主役はレオンディーナ・ヴァドゥヴァというソプラノ、さらに2010年9月東京会館ではアンナ・ネトレプロのマノン役、これは英国のロイヤルオペラの引越し公



9月行事・会合

- 3日(月)・会長副会長連絡会議
- 5日(水)・富田林三師会合同災害時救急医療研修会
- 6日(木)・調整日
- 11日(火)・学校医部会
・病診連携世話人会
- 13日(木)・学術講演会
- 14日(金)・理事会
- 19日(水)・救急災害医療委員会
- 21日(金)・広報調査委員会
- 25日(火)・感染症対策委員会
・訪問看護ステーション運営委員会
- 26日(水)・広報調査委員会(校正)

演で指揮はアントニオ・パッパーノなどの公演がありました。

映画で「情婦マノン」というのがあり小説「マノン・レスコー」の翻案といわれ映画として賞をとったりしているが、マノンとデグリュエが知り合った場所とかが大幅に変更されストーリーそのものが現代風になっています。

バレエ演目に「マノン」というのがあり原作は同じアベ・プレヴォによるが、使用曲はマスネー作曲のオペラ以外の他の曲によっています。

プッチーニの「マノン・レスコー」というオペラ中心に述べましたがオペラ公演は歌手以外に演出・衣装その他のキャストのもとに正規のオーケストラメンバー(2管編成が基準)と合唱団、それらを統率する指揮者などにより成り立つもので、人員、装置など経済面で将来の進展にある意味で厳しいものがあり、それらを乗り越えての道のりが平坦なことを祈ります。(ちかなりく)

○会員数(10月1日現在) 190名

A会員 98名 B会員 92名

- 入会 なし
- 退会 なし
- 異動 なし

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治 江村 俊也 遠山 佳樹 山本 善哉	天城 完二 奥野 敦史 中村 元 山村 友良	植村 匡志 尾多賀雅哉 藤岡 洋